

トラブル

SANYO News Letter

⚠ 主電源を切らずにしばらくお待ちください。

S003-2015-03

- システム情報を保存中です。
保存には3分程度かかる場合があります。

エラーコード:

▶ E000004-0000



トラブルが発生しました。
操作パネルの電源キーを押して、
電源を入れ直してください。
復帰できない場合は、エラー番号を
サービス実施会社にご連絡ください。

上記画像は機械トラブル時の液晶画面になります。

左記はCANON複合機 右記はRISOオルフィス

いつもトラブルでご迷惑をお掛けしております・・・

サービスマンはあまり見たくない画面ですが迅速に対応するために必要な情報が表示されています。そう記載されているメッセージではなく番号が重要なのです（右記画像の青線部）特にオルフィスはアルファベットと数字の組み合わせで分類され複雑になっております。今回はその説明をさせていただきます。次回からの連絡時には表示されている番号を教えてやってください。

山陽事務機 岡山本社
TEL086-273-6300
FAX086-273-1811
山陽事務機 倉敷支店
TEL086-424-3400
FAX086-424-3407

S000-0000：サービスコール

対処方法：操作パネルのリセットキーを押す。それでも復帰出来ない場合は電源キーを押して電源を入れ直してください。それでも変化がない場合はサービスマンへ連絡ください。

U000-0000：ユニットエラー

対処方法：操作パネルのリセットキーを押す。それでも復帰出来ない場合は電源キーを押して電源を入れ直してください。それでも変化がない場合はサービスマンへ連絡ください。

X000-0000：紙詰まり

対処方法：表示されている箇所を確認して用紙を除去してください。

Y000-0000：消耗品関連

消耗品や定期交換部品交換時期がくると表示

Z000-0000：セット関連

カバーやトレイなどきちんと閉まっていない時などに表示

W000-0000:ワーニング

用紙無し、排出先トレイ満杯などに表示

I000-0000：インフォメーション

クリーニングインクタンクの交換時期が近づいていますなどで表示



頭の体操

創立記念

陽春の候、日頃からのご愛顧を賜り厚くお礼を申し上げます。
弊社62年の創立記念を迎える事が出来ました。
ここに改めまして、これまでのご支援ご指導に心より感謝を申し上げます。
これを機に社員一同心新たに、皆様のご期待に添えますよう努力する所存です。
今後とも一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。



JAMと聞いて何が浮かんできますか？

ほとんどの人がパンに塗ったりヨーグルトに入れたりするジャムを思い浮かべたのではないのでしょうか。サービスマンにとってジャム＝紙詰まりなので、あまり良い言葉ではないかもしれません。

「見事にジャムったな」と渋滞に捕まった時に次元大介が喋っていた気がします。詰まるとかひしめき合うと訳するので渋滞した時にも使えますね。

さて今回私が語りたいのは名曲JAMのほう。the yellow monkeyの代表曲。

1996年に世に出てきた曲なのに今の時代に投げかけているように聴こえるのは名曲である所以だと思います。

「外国で飛行機が落ちました。ニュースキャスターは嬉しそうに乗客に日本人はいませんでした。」

衝撃を受けると同時に誰に何に対して歌っているのか理解が追いつかなかった10代...名曲JAMにおいて上記の歌詞はピックアップされることが多いが、本質はそこには無いという私の見解であることを先に述べておきます。

飛行機が墜落する事で多くの人々が亡くなる事は簡単に想像出来る、そこに日本人が居ないだけで安堵する。この時点で自分に関係の無い所で多くの人々が死んだ情報の1つになってしまった。日本人が死んでないからよかったのか...

たくさんの情報が溢れる時代、自分の意見を発信することが簡単にできる時代、影響力のある人の意見はすぐに広がり、大多数が支持すれば正しい意見になる時代。

私はどう思うのか？ あなたは？ 大多数に対して、「あれ？なんかおかしい」と感じるならば、一旦立ち止まって、「本当に正しい？自分はそれに従っていいの？」と考えるべきだろう。

誰かの死を知る事で、それを単なる情報として受け流すのではなく、自分の大切な人を思い浮かべる事が出来たなら、この曲が伝えたかった事を理解出来たのではないかと思うのは浅はかだろうか。

美しい社会ではなくても、不条理だったとしても、自分が本当に大切だと思うもの、真実だと思うものを信じて生きていこうという意味を込めて作詞作曲されているのではないだろうか。

今の時代に投げかけていると感じた理由はここにある。

たくさんの情報が溢れ、飽和状態の社会で、本当に正しい事・モノを見つけるのは簡単ではないでしょう。しかし、この曲の歌詞にあるように矛盾に満ちた世の中だとしても、自分は何を大切にしたいのか、何が真実だと思うのか、誰を愛するのかを見極め、自分の選択を信じて進む強さが、今の時代を生きていく中で一番求められることなのかもしれない。

技術部 湯浅



←バックナンバーはこちらから閲覧できます